2019 年度活動概要　　リーディング研究会

本研究会は言語処理のプロセスに着目しながら、日本人ＥＦＬ学習者の読解システムについて理解を深めること、そしてＬ２の読みの諸理論に基づいた効果的なリーディング指導を探求することを目的として活動しています。特に、処理の自動化、読みの流暢性を主なテーマとして、その観点から L2 読解プロセスの詳細を掘り下げるだけではなく、シャドーイング・音読の流暢性への効果、効率向上の練習、多読の効果などを含めてリーディング授業の実践面に関わるテーマに関連した研究も重要視しています。

本年度も、実証・実践研究発表と輪読の二本立てを原則として毎月１回研究会を開催し、これらの目的達成のために活動してきました。本年度は、*Theories in Second Language Acquisition* (2015) に引き続き Reading in the Brain(2009)の輪読を月１回行い、１冊読了しました。発表後の議論や意見交換を通して、専門分野に関するお互いの知見を深めることができました。会員による研究発表も輪読に続いて毎回行い、活発な質疑応答を通して、新たな研究視点の発見もありました。輪読と研究発表も絶やすことなく継続できましたので 2019 年度の活動は成功裡に終わったと考えています。

3 月には、JACET リーディング研究会・英語語彙研究会・英語辞書研究会合同研究会、そして関西英語辞書学研究会との合同研究会を大阪にて開催予定でしたが、コロナ感染拡大の影響で来年まで延期することとなりました。また次回に向けてあらたに目標を定めて大会に向けて計画を練る予定です。

各種活動を通じて本研究会メンバーが普段行っている研究の枠組みを超え、異なった視点から本研究会のテーマに迫ることができたことは、大きな収穫でした。今後もさらに活動の幅を広げて行きたいと考えています。